

記入日 2022 年 11 月 5 日

一般社団法人日本薬学生連盟 2023 年度執行部立候補申請書

立候補者氏名	四辻瑞帆
立候補する役職	国際渉外統括理事
大学/学部/学科	福岡大学/薬学部/薬学科
学年	2 年
所属	国際渉外部 / 交換留学委員会
日本薬学生連盟 での活動経歴	2022 年 8 月 日本薬学生連盟入会 交換留学委員会所属 2022 年 9 月 EAA スタッフ参加 国際渉外部所属
立候補動機	<p>★前任者の推薦</p> <p>★私が日本薬学生連盟のことを見つけたとき、薬学生として生活していく中で出会いたかった団体だと強く感じました。特に海外の薬学生や団体と交流できる機会を自分自身でやることは簡単ではないため、国際渉外統括理事として交流できる機会を提供することで皆様と共に成長したいと思い立候補いたしました。</p> <p>★私は小学生の頃に漠然と海外に憧れを持ち、もっと文化の違いを学びたい、自分の好きなことを極めたいと思い様々な活動をしてきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県青少年海外事業 香港視察 <li style="padding-left: 20px;">オーストラリア視察 ・日韓高校生平和大使 韓国視察 ・オランダ青少年交流プログラム佐賀県代表 ・全九州高校弓道新人選手権大会 女子団体 優勝 <p>それらのことから学んだことは「出る杭は打たれる」ということです。そのため私は大学生になってからは目立った活動をせずに過ごそうと思っていました。しかし、日本薬学生連盟の人たちを見ていると私は出る杭どころか埋もれている杭だと気づきました。</p> <p>私が日本薬学生連盟で出会った先輩、同輩、後輩は全員が志を持って互いに高めようとしていました。さらに、他に知り合いもない私が踏み出した一歩を大切にしてくださいと私がやりたいことを応援してくださいました。</p> <p>この団体に入ってから、私が興味のある分野に対しての視野が深まっただけでなく、これまで見えてなかったところも見えてきて視野が広がることができました。その経験を活かして、国際渉外統括理事として本部の一員になり、次は他の人の視野を広げたいと思いました。</p>
問題点と改善案	<p>[問題点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント参加者の低迷 ・仕事内容についての認知不足 <p>[解決策]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント参加者の低迷について <p>国際渉外部の部署内のスタッフと英語で交流する機会を増やすことによって、英語に対する抵抗感を減少させるだけでなく、周りの人の英語力を知る機会も提供することができると考えています。また、国際渉外部に所属している人がどのような目的で入り、どのようなことをしたいかを知るために定期的にアンケートを取ることを考えています。自分のやりたいことを言葉にすることで、国際渉外部に所属しているスタッフの一員としての意欲が持続すると考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事内容についての認知不足について <p>積極的に他の部署と交流することで国際渉外部について知る機会を増やし国際渉外部自体に興味を持ってもらえるのではないかと思います。例えば公衆衛生委員会の場合、海外の公衆衛生について学ぶ機会を共同で作り上げ、公衆衛生をきっかけに海外に興味を持つという違ったアプローチの仕方があるのではないかと考えています。</p>

<p>活動計画</p>	<p>通年:英語版報告書の作成</p> <p>上半期:APPS2023 参加者サポート 講演会開催(予定は未定)</p> <p>下半期:1~3 月 台湾韓国合同イベント開催 年会準備</p> <p>※海外団体との企画はオファーがあり次第検討いたします。</p>
<p>所信</p>	<p>国際渉外部は海外に興味がある人や英語を使えるようになりたい人など国際系に興味がある人がスタッフとして活動しています。しかし、国際渉外部に入っている人たちでさえ英語を使うイベントとなると参加を躊躇してしまうと感じています。国際渉外部と交換留学委員会が密接にコミュニケーションを取り、互いに意見を出し合うことでさらに国際系部署の敷居を低くし、国際系イベントの参加者やスタッフを集める事ができるのではないかと考えています。具体的に私が考えていることとして、国際渉外部のスタッフに対して海外の方と英語でコミュニケーションを取ることでできる機会を提供すること、イベントの開催等によって海外の薬学事情を学ぶ機会を作ることが挙げられます。そうすることで将来海外と関わりのある職に就きたいと考えたときに必要な基本的なスキルは備わった状態での就職になるため、活動の幅を広げられると考えています。</p> <p>私は薬学部に入學した際、薬学部の就職先は病院薬剤師、または薬局薬剤師になるという道に絞られてしまうと思っていました。そんなときに「日本薬学生連盟」という存在を知りました。日本薬学生連盟を通して様々な職種があることを知り、将来の選択肢を増やすことができました。その経験から他の部署とも積極的にコラボ企画をすることで、参加者の将来に対する視野を広げることができるのではないかと考えています。また、自分の将来に向けて積極的に行動している友人や、私が幼い頃に夢見ていたことを実現しようとしている友人に出会い、目標を持って勉学に励む事ができています。国際渉外統括理事になり私が薬学生として今見えている世界を深めたい、また、次は他者の視野を広げることや、意識を高めるといふことに尽力したいと感じるようになりました。国際渉外の渉外には外部(主に外国)と連絡・交渉することという意味があります。私は日本の薬学生の代表として外国と連絡・交渉をし、外国の薬学生と日本の薬学生の架け橋になりたいです。</p> <p>私は、日本薬学生連盟は自分が活動したいと思った時に後押しや行動をする機会をいただける場所だと考えています。</p> <p>私は日本薬学生連盟に入ったばかりですが、実際にいくつかのイベントの運営に携わることができました。</p> <p>本部の一員になることでさらに日本薬学生連盟のことを深く知り、次は私がスタッフの後押しや成長の機会を与えられる人になりたいと考えています。</p> <p>現在、九州の会員が少ないということを知りました。今の日本薬学生連盟の拠点は関東であり、九州からはとても遠いです。しかしコロナ禍で多用したオンラインをコロナ後も有効活用して九州の学生にも活動する機会や学ぶ機会を与えられるようになりたいです。まずは私が通っている大学の薬学生に薬学生連盟の魅力を SNS や言葉で発信し、結果的には日本薬学生連盟全体が盛り上がるように尽力して参ります。</p>